



中深煎り & 浅煎り「フェアトレードコーヒードリップバッグ第六弾」完成
ドリップバッグのパッケージデザインを一般公募から採用
2024 年 11 月 1 日（金）から販売開始 そごう千葉店にて

麗澤中学・高等学校(千葉県柏市/校長:櫻井 譲)の SDGs 研究会「EARTH」が、東ティモールを支援する「フェアトレードコーヒー活動」でシリーズ第六弾となるドリップバッグを完成させました。

今回完成した第六弾のドリップバッグは 5 種類のパッケージデザインがあります。2 種類のクラフト紙のうち、1 種類は一般の方のデザインが使用されており、SDGs 研究会が今年の 8 月にそごう千葉店で一般の方向けに実施したデザインを募集するワークショップで最優秀作品となったものが採用されています。もう 1 種類は、第五弾に引き続き、東ティモールの現地の子どもたちにデザインしてもらったものを採用しています。現地の子どもたちには、「東ティモールのお花」というテーマで、デザインをしてもらいました。これらの取り組みを通じて、今まで意識してきたトレーサビリティを可視化するだけでなく、更に消費者に東ティモールを身近に感じることができ、消費者一人ひとりの消費行動を変えていけると考えました。5 つのパッケージデザインの内、残りの 3 種類のデザインは全校生徒からデザインを公募し、採用されたデザインを使用しています。

また、シリーズ第六弾では、第五弾に引き続き、コーヒー豆の焙煎を「自家焙煎珈琲 茶珈香（代表：工藤 貴正）」にお願いをし、「中深煎り」と「浅煎り」の 2 種類の焙煎度合いをご用意しています。そして、ドリップバッグの袋詰め作業は、第五弾に引き続き、障がいのある方の就労支援として委託しています。これは障がいのある方が働きやすい社会を作りたいとの思いから、柏市にある社会福祉法人ワーナーホーム（柏拠点統括施設長：大久 夏樹）のご協力をいただき、実現しています。

そして、11 月 1 日（金）よりそごう千葉店の「food edit Chiba」の店頭およびオンラインサイトで販売されます。※生徒作成サイトのオンラインショップでも同日から販売されます。

SDGs 研究会では今後もフェアトレードを推進する活動で、単に生産者と消費者を一方通行でつなぐだけではなく、商品にかかわるすべての人々の想いをのせて商品をお届けし、消費者からの感想や評価を適切に生産者へフィードバックできるように努力を続けてまいります。

【第六弾のコーヒードリップバッグの販売店の詳細】

■販売開始 : 2024 年 11 月 1 日（金）から

■販売場所 : そごう千葉店「food edit Chiba」

〒260-8557 千葉県千葉市中央区新町 1000 番地 そごう千葉店

地下 1 階

■販売サイト: CHOOSEBASE SHIBUYA オンラインストア

(<https://choosebase.jp/collections/sdgs%E7%A0%94%E7%A9%B6%E4%BC%9A-earth>)

【フェアトレードコーヒードリップバッグ第六弾 概要】

■製 造 所: 社会福祉法人ワーナーホーム ペジーブル高田
千葉県 柏市高田 184 すくすくハウス内

(<https://sukusukuhouse.net/>)

■生豆生産国: 東ティモール

■焙 煎: 自家焙煎珈琲 茶珈香

千葉県柏市富里 1-1-2

(<https://www.chakaka.net/index.html>)

